

議会報告会結果報告

開催日時	平成 28 年 5 月 15 日（日）10 時～12 時			
開催場所	鎌倉市役所本庁舎 2 階 議会全員協議会室			
出席議員	班長	日向 慎吾		
	司会	山田 直人		
	千 一	河村 琢磨	前川 綾子	西岡 幸子
	日向 慎吾	永田 磨梨奈	池田 実	三宅 真里
	納所 輝次	久坂 くにえ	中村 聡一郎	山田 直人
	吉岡 和江			
参加人数	7 人			
実施概要	・平成 28 年 2 月定例会の報告 ・意見聴取会 3 つのテーブルに分かれて、市民と議員が同席し、ご意見をお聴きした。			
内 容	【委員長報告への質疑】 Q1. インターネット中継について、視聴数を把握しているか。 A1. 予算等審査特別委員長 （議会広報委員会副委員長の立場として発言）視聴数について把握している。 【意見聴取会での意見】 ●<u>ごみ行政について</u> ・ごみは出たところで処理すべきである。 ・今は一極集中となっているので地域分散にすべきである。 ・新焼却炉の性能を見極めるべきである。 ・戸別収集についてこれからどうなるのか？市民に対して説明されていない。 ・ごみ処理経費は行政コストの中でやるべきなのに、なぜ有料化なのか。 ・有料化をやめるべき。税金の範囲内でやるべきではないか。 ・有料化をする前に市としてやるべきことがあるのではないか。 ・行政がなぜ大変なのか 市民に知らせていくこと大事である。 ・ごみを減らす努力と最終処分考えた取り組みが必要である。 ・ダイオキシンや光化学スモックなど焼却を少なく環境を考えた取り組みを求める。 ・指定収集袋の紐が短くて結びにくい。 ●<u>北鎌倉のトンネルについて</u> ・現場を見て判断してほしい。 ・党派ではなく個人の判断で行うべきである。 ●<u>行革問題</u> ・職員・議員の給料の値上げは、このような状況下でおかしい。			

- ・人件費を下げてと言うわけではないが、ＩＴ化などで費用対効果を図る必要がある。
- ・不祥事が多いが職員の質の向上が必要である。
- ・議会のチェック機能が大切である。

●議員および議会運営について

- ・議員数が多いのではないか。
- ・議長・副議長の役割が分からない。

●地域での課題について

- ・稲村ヶ崎の下水道管破損の問題は今後大きな問題となるはず（海水浴、漁業）。
- ・上町屋の交通や洪水の問題に対して対策が必要（案を示された）。
- ・野村総研の活用。有益な場所なので民力を行政が支援するのが必要ではないか。

●その他ご意見・ご要望等

- ・学校施設への拠点化についても市民と論議する。教育の重要性を考えるべきである。
- ・稼げる歴史観光を行うべきである。
- ・市政 80 周年に向けてできることからやっていく。
- ・あたたかい町になってほしい。
- ・町内会との関わりや地域とのつながりが大事。行政でなく地域のかかわり大切にし、お互い話し合いで解決するべきである。